

復職支援実技研修報告書

最新の糖尿病治療

～インスリン療法、内服治療、自己血糖測定～

日付 令和8年7月3日（金）

13:00～16:00

場所 秋田アトリオン 3階 研修室

講師： 糖尿病看護認定看護師

富永 幸恵 氏



参加人数： 17名

アンケート回収率： 100%

1. 研修動機について（複数回答）

最新の知識を知りたい（13名）、知識・技術への不安（16名）、今後の看護に活かすため（8名）
再就業の準備のため（7名）、再就業できるかの判断材料にしたい（1名）
その他（1名）〔離職期間が長くなったので、参加者の皆さんと交流したい気持ちもあった〕

2. 今回の研修会内容について

(満足)										(不満足)	
5	-	4	-	3	-	2	-	1			
(17名)											

感想

- ・新卒の頃、先輩から糖尿病患者さんは「できない人ではなくできない理由のある人だよ」と教わりました。その時は本質に気付いていませんでしたが、今日の「ダイアベティスへのスティグマをなくす」という世の中の動きを知ったことで、その言葉を改めて考えさせられました。また、治療薬の最新知識を知ることができて、良かったです。ありがとうございました。
- ・講義の他に演習もあり、実技ができて良かったです。認定看護師の方の専門的な講義は貴重な時間でした。聞きやすい話し方や声など、勉強になりました。また、自分の血糖値を知ることができて良かったです。
- ・介護施設や在宅での看護業務に就きたいと考えていました。現場に活かせることを学ぶことができたと同時に、自分の課題も知ることができ有意義な時間を過ごすことができました。
- ・血糖測定の際の対処法が聞けて良かった。患者指導ではなく、生活支援等という言い方に代わっていることを知れてよかった。何とも思わず使っていたが、スティグマにつながると初めて知った。血糖測定の演習が、強制ではなく自身の意思でやるかやらないか決められるようになってきたというのが衝撃的だった。
- ・インスリンや内服薬の種類が多くて、どの糖尿病のタイプにそれらを選択するのか知りたいと思います。7日間持続（作用が）するインスリンは、初めて知ったのですが、選択肢が増えることで、患者さんのQOLが高まることが期待できるのではないかと思います。思っていたよりも、勤務時代とインスリン注射や血糖測定の手技の変化はなく、器具を見たら実施できたので安心しました。

- ・血糖測定やインスリン注射の手技を再確認することができた。また、最新のインスリンについても知ることができたので、今後に生かしたいと思います。
- ・再就業に向けて出席しました。働いている時は、業務におわれて学習できないでしたが、改めて研修を受けて、最新の糖尿病治療を知ることができました。とても勉強になりました。
- ・資料がとても分かりやすかったです。また、実演で質問もでき理解しやすかったです。最新の情報・知識を習得できました。
- ・最新の糖尿病治療を知ることができました。血糖測定器も変わっており、自分で実際実施したことで、現場でも不安にならずに自身をもってできると確信しました。

